

抄 録

松川浦に放流したホシガレイ種苗の食性，成長， および分散

和田敏裕・島村信也*・根本芳春**

Feeding, Growth, and Dispersal of Hatchery-reared Spotted Halibut *Verasper variegatus*
Released in a Shallow Brackish Lagoon: Matsukawa-ura, Northeastern Fukushima, Japan

Toshihiro WADA, Shinya SHIMAMURA and Yoshiharu NEMOTO

水産増殖 62 (1), 75-88 (2014)

汽水性の潟湖である松川浦におけるホシガレイ種苗の放流後の食性，成長，および分散過程を調査した。2003 年 6 月に 27,900 尾（3 群合計），2004 年 6～8 月に 53,217 尾（4 群合計）を松川浦中央部に放流した（全長 8.0～10.1 cm）。2m ビームトロールを用いた浦内 5 定点調査により，放流種苗は主に南部に移動して速やかに摂餌を開始し，約 1 週間で環境に順化すると考えられた。全長 15 cm 未満の放流種苗の主な餌生物は豊富に分布するアミ類とヨコエビ類であった。単位努力量当たりの採捕尾数は全ての放流群で速やかに低下したが，魚食性魚類の胃内容物から放流種苗は確認されなかった。放流種苗の成長は天然稚魚を下回ることから，種苗生産過程で適切な成長を経た良質な種苗を放流すべきであると考えられた。1 歳魚は，松川浦ではほとんど採捕されないのに対し，放流翌年の 6 月以降，外海でさし網や底びき網で採捕されたことから，1 歳魚の多くは夏までに外海に移動すると考えられた。

* 福島県農業総合センター

** 福島県水産事務所